

## 校長室より

5月は、新緑の候という季節感を現す言葉があります。今、和歌山の山々も緑の新芽が勢いよく太陽の光を浴び、元気に育っています。

私もこの新緑の季節がとても好きで、学校に車で来る途中、山々の美しい新緑を見るのがとても楽しみです。

今、学校は新型コロナウイルス感染症対策のため、3月から臨時休業が長く続いています。昨日の県の発表で学校再開は6月からとなりました。

長い臨時休業にもかかわらず、ご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

臨時休校で子どもたちのいない状況が続き、教室もがらんとして寂しい雰囲気です。早く、学校も再会し、子どもたちの元気な姿に会えるのを楽しみにしています。

本校教職員も、交代で在宅勤務といって、自宅で三密を避けながら仕事をしています。子どもの様子を思い浮かべながら、学校再開時の授業づくりや教材づくりに励んでいます。

皆さんは、今、家庭でどう過ごされてますか？

誰もが、数ヶ月前まで、こんな時が来るとは予想できませんでしたね。

あたりまえの日常が、あたりまえでなくなり、人との接触を控え、こんな生活が来るとは想像できたでしょうか。

先の見えにくい中で、今まで気づかなかったあたりまえの生活がありがたく、今まで気づかなかったことに気づく今日この頃です。

みはま支援学校では、運動場の紫の藤の花も4月はとてもきれいに咲いていました。今は5月になり学校周辺の緑の木々が元気に息吹いています。

全都道府県に、緊急事態宣言が発令されてる中、今は我慢しなければならぬ時期ですが、学校再開を楽しみにがんばっていきましょう。



令和2年5月1日  
校長 植野博之